

大谷「50—50」

メジャー初、

「51—51」も



米大リーグ、マーリンズ戦の1回、三盗を決める
ドジャース・大谷翔平。日米を通じて自身初の50
盗塁となった=いずれも19日、マイアミ(共同)



米大リーグ、マーリンズ戦の7回、50号2ランを放つ
ドジャース・大谷翔平。メジャー史上初の「50本塁打、
50盗塁」に到達した

「マイアミ共同」米大リーグ、ドジャースの大谷翔平(30)が19日、マイアミで行われたマーリンズ戦でメジャー史上初の「50本塁打、50盗塁」の偉業を達成した。一回に三盗、二回には二盗を決めて51盗塁とした大谷は六回に49号2ラン、七回に50号2ランを放って到達。九回には自身初の1試合3本塁打となる51号3ランも打った。

チームは20—4で大勝し、大谷はメジャー7年目で初のプレーオフ進出が決まった。50本塁打はアジア選手初。2001年にシヨーン・グリーンがマークした49本塁打の球団記録も抜いた。

大谷はこの試合で10打点を挙げて今季の打点を120まで伸ばし、松井秀喜(ヤンキース)が05年に記録した116の日本選手シーズン最多打点記録を更新。日本選手のシーズン50盗塁

は、01年に56個で盗塁王を獲得したマリナーズのイチロー以来、2人目。

詳しくは
神戸新聞
NEXT

